

特別展

しょうみょう じ げん じょう しゆ  
称名寺の賢聖衆

—如来、羅漢、菩薩—



阿彌陀三尊立像のうち勢至菩薩像 (部分)



県文 十大弟子立像のうち伝阿難陀像 (部分)

2024年 (令和6年) 2月1日(木)~3月17日(日)

開館時間 9時~16時30分 (入館は16時まで)  
休館日 毎週月曜日 (2月12日を除く)、2月13日 (火)  
協力 横浜市金沢区役所  
交通 京急線金沢文庫駅下車 東口より徒歩12分 (快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)  
シーサイドライン海の公園南口駅下車 徒歩10分 (JR根岸線 新杉田駅接続)  
観覧料 一般400円 (300円)、20歳未満・学生250円 (200円)、65歳以上200円 (100円)、  
高校生100円、中学生以下、障がい者の方は無料 ( )内は20名以上の団体料金

展示解説のご案内

\*学芸員 毎週木曜日午前11時

\*ボランティア 毎週土・日・祝日午後2時と3時

いずれも当日受付。開始時に館内放送でご案内いたします。

神奈川県立 金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko museum

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142

TEL 045-701-9069 / FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/kanazawa.htm>







①



②



③

④

Handwritten Japanese text, likely a historical record or inscription related to the artifacts.

- ① 地藏菩薩坐像
- ② 阿彌陀如来坐像
- ③ 千手観音立像
- ④ 十一面観音立像
- ⑤ 国宝 十六羅漢講式



賢聖衆——如来、羅漢、菩薩の御姿には、たとえ紙や絹、木や土、石や金属等を素材として作られていたとしても、自然と畏敬の念を抱き、頭を垂れ、手を合わせます。

本展示では、横浜市金沢区に所在する称名寺所蔵の賢聖衆を現す彫刻や絵画、それらを供養するための仏具が伝えてきた、インド以来の仏教信仰の背景を、国宝「称名寺聖教」、重文「宋版一切経」を手掛かりに探ります。

主要展示品

重文 釈迦如来立像、泉文 十大弟子立像、観音菩薩立像、如意輪観音坐像、重文 十六羅漢像、仏涅槃図、来迎弥勒菩薩像、重文 磬架、青磁香炉、青磁花瓶、重文 玉華鬘、国宝 無量寿経、重文 大般若波羅蜜多経、重文 中阿含経

ほか 全て称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫保管

講座のご案内

- 2月講座 賢聖のはなし  
——称名寺が伝えた仏像・仏画の魅力  
日時：2月25日(日) 13時30分〜15時  
講師：道津綾乃(当文庫主任学芸員)
- 3月講座 菩薩から仏に至る道——「三賢十聖」の階梯  
日時：3月10日(日) 13時30分〜15時  
講師：櫻井 唯(当文庫学芸課職員)

お申込方法等

金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お一人様一講座一通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、2月講座は2月8日(木)必着、3月講座は2月21日(水)必着でお申し込みください。

いずれも、会場は当文庫大会議室、定員は60名超過の場合は抽選。受講には当日の観覧券が必要です。

次回予告

特別展 国宝 文選集注といただきもの!?

令和6年3月22日(金)〜5月19日(日)